

東京国立博物館 ニュース

展示と催し物案内
第771号

2022-2023

12.1.2

表紙の名品

「振袖 鬱金色」

「綸子地牡丹橘網模様」

裏表紙に
掲載してるほ！

東京国立博物館創立150年記念事業

戦後初のコレクション 国宝「松林図屏風」

近世能狂言面名品選——「天下」号を授かった面打——

祝・連携20周年！ 創立150年記念特集 王羲之と蘭亭序

特別企画 大安寺の仏像／特別展 東福寺ほか

博物館に初もうで

特集 戦後初のコレクション 国宝「松林図屏風」

本館7室 2023年1月2日(月)・(休)～1月15日(日)

となりました。国民の博物館となったこの年に、戦後初めて購入された作品のひとつがこの「松林図屏風」です。近年では毎年お正月に展示されて、多くの方々に親しまれています。さまざまな水墨技法によってあらわされたこの松林には、霧の晴れ間から柔らかな光が差し込んで、遠く雪山がのぞき、冷たく湿った空気が漂って、風の流れや森の清々しい香りまで実感できるでしょう。

国民の「国宝」として広く知られるこの作品を展示して、新しい1年のはじまりと共に東京国立博物館創立150年を寿ぎます。
(松嶋雅人)

戦後、新憲法が施行された昭和22年(1947)5月3日に、東京帝室博物館は皇室から国に移管され、名称が国立博物館



対峙するたび、奥深くまで引き込まれる

●松林図屏風 長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀 白和紙の上に墨の濃淡だけで、光と風の情景が描き出されています

特集 近世能狂言面名品選 —「天下一」号を授かった面打—

本館14室 2023年1月2日(月)・(休)～2月26日(日)

「天下一」号とは、安土桃山時代から江戸時代前期、鑄物師、陶工、面打(能面の作者)などの名手に朝廷や幕府から授けられた称号です。面打では、文禄2年(1593)に角坊が能を愛好した豊臣秀吉から授かったのが最初でした。それから天和2年(1682)に「天下一」号の使用が禁じられるまでの89年の間に「天下一」号を授かった、7人の面打の名が記された作品を展示します。

彼らは名品として重んじられていた面を写す名手でしたが、写しといえども、作品の表情や彩色には「天下一」の面打それぞれの個性が垣間見えます。彼らの作品を大名たちが所望しました。
(川岸瀬里)



面裏に「天下一是閑」の焼印が押され、緑青がいられています

戦にむけて雄々しく
声を張り上げるかのよう

能面 平太

「天下一是閑」焼印
安土桃山～江戸時代・16～17世紀
骨格と筋肉をしつかり捉え、力強い武将の表情を表しています



(面裏)

上品で、柔らかな
雰囲気醸す

能面 増女

「天下一大和」焼印
江戸時代・17世紀 文化庁蔵
華やかでおっとりとした表情の面です。
大和の現存作品は少なく貴重です



イベント等紹介

150年後の国宝展

—ワタシの宝物、ミライの宝物—

表慶館 ～2023年1月29日(日)

当館創立から150年、日本社会は大きく変化しました。本展では今あるモノの中から、未来の国宝候補をみんなで考えます。現代を生きる私たちが、もう誰も生きていないかもしれない150年後、西暦2172年の東京国立博物館。その時、国宝には、どんなモノがあるのでしょうか。

本展は、今から150年後に、国宝候補として伝え残したい“ワタシの宝物”を個人や企業から集めて、その背景のストーリーと共に展示するイベントです。

国宝候補 企業部門

出展協力企業の「国宝候補」です。会場で企業の思いや理念を感じながらご覧ください。

「映像を未来へ繋ぐフィルム修復技術」株式会社 IMAGICA GROUP/「まきのまきのレター 土佐典具帖紙版」株式会社 ENYSI/「POCARI SWEAT」大塚製薬株式会社/「Port Plus 大林組横浜研究所」株式会社大林組/「リアル恐竜体験プロジェクト DINO-A-LIVE」株式会社 ON-ART/「1万年コンクリート ELEN」鹿島建設株式会社/「科学のふろく」株式会社学研ホールディングス/「キッコーマンしょうゆ」キッコーマン株式会社/「初音ミク」クリプトン・フューチャー・メディア株式会社/「Au Design project 携帯電話」KDDI 株式会社/「ポテトチップス のり塩」株式会社潮池屋/「HELLO KITTY」株式会社サンリオ/「人と馬の物語」JRA/「日本が生んだ世界のスポーツ・競輪」公益財団法人 JKA/「首都高速道路のネットワーク」首都高速道路株式会社/「ココロとカラダのセルフケアメカネ」JINS MEME株式会社/「新宿住友ビル」住友不動産株式会社/「コンビニ文化の今と昔 セブン・イレブン」株式会社セブン&アイ・ホールディングス/「プリキュア」東映アニメーション株式会社/「まちづくりの DNA」東急グループ/「世界初を生み出す DNA 万年時計から量子暗号通信まで」株式会社東芝/「ゴジラ」東宝株式会社/「鉄道電気技術」日本電設工業株式会社/「魚沼が育んだ鮎と八海山」八海醸造株式会社/「たまごっち」株式会社バンダイ/「GUNDAM」バンダイナムコグループ/「ガンダムプロジェクト」/「カルチャーショップ ビームス」株式会社ビームス/「ベネッセアートサイト直島」株式会社ベネッセホールディングス/「スーパーカブ C100」本田技研工業株式会社/「きもの新たな美の追求・あかね」丸紅株式会社/「漫才」吉本興業株式会社
運営協力企業：NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社/安田不動産株式会社

国宝候補 一般部門

一般部門の「国宝候補」全67件のうち、20件を表慶館で展示またはパネル写真でご紹介します。詳細は展覧会公式ウェブサイトをご覧ください。



国宝候補 企業部門 第1室展示風景

トーハクキッズデー

実施期間：2023年3月26日(日)までの毎月第4日曜日
対象：0歳～中学生とその保護者(小・中学生だけの参加可)
入館料：一般1,000円/大学生500円
※高校生以下は無料、特別展や有料イベントは別途料金が必要

12～2月のイベント

※イベントは追加、変更する場合があります。
イベントの詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。

イベントの詳細は
こちらから



日程	イベント	場所	時間
12月25日	笑おう！楽しもう！こども落語体験	平成館大講堂	11:00、13:30
	さわってみよう！考古ハンズオン	平成館考古展示室前	10:00～16:30
	コロタイプ印刷ワークショップ	本館1階ラウンジ	10:00～16:00(受付終了15:30)
2023年 1月22日	笑おう！楽しもう！こども落語体験	平成館大講堂	12:30、15:30
	トーハクファミリーコンサート(バイオリン)	平成館ラウンジ	14:00
	ひいながたぬりえ	本館19室	10:00～16:30(受付終了16:00)
	お正月ワークシート配布(なくなり次第終了)	本館地下みどりのライオン	10:00～16:00
	うし体験ペーパークラフトプリントサービス	本館特別4室	10:00～17:00
2月26日	笑おう！楽しもう！こども落語体験	平成館大講堂	11:00、13:30
	うし体験ペーパークラフトプリントサービス	本館特別4室	10:00～17:00
	はじめてのお茶たんけん	九条館	10:30、14:00、15:30
	よろいのひみつ	オンライン	11:00、14:30
	アジアの占い体験	東洋館6室オアシス	11:45～15:00

キッズスペース
(10:00～16:00)で
トーハクコレクションカードと
ファイルをプレゼントするほ！
(※なくなり次第配布終了)

ボランティアによる
ツアーやワークショップ
なども計画中です！

うし体験ペーパークラフト プリントサービス



自分でデザインしたうしの小箱
を、ペーパークラフトに印刷して
持ち帰れます

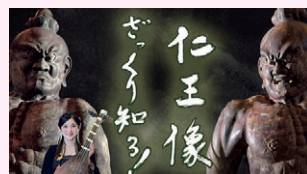
「みんなでつくる記念チケット」 配布しました

高校生以下のお子様から当館所蔵品の絵を募集し、その中から150の絵が選ばれました。「記念チケット」には、豊かな発想や独特の視点で描かれた絵がデザインされ、所蔵品に新たな魅力を与えてくれました。素敵な絵を多数ご応募をいただき有難うございました。「記念チケット」は、ご好評につき配布は終了しました。

※記念品のため、本チケットでは
ご入館いただくことはできません



新作動画「仁王像 ざっくり知る！」 東京国立博物館の金剛力士立像」



仁王像は、東京国立博物館創立150年
記念 特別展「国宝 東京国立博物館の
すべて」(12月11日(日)まで)で展示さ
れています

創立150年の節目に新たに収
蔵された「金剛力士立像(仁王
像)」についてご紹介する動画
を、当館 YouTube チャンネル
で公開しました。当館の新たな
スターの魅力と、知られざる復
活の物語をぜひご覧
ください。

東京国立博物館
YouTube チャンネル



吉祥作品で、新春気分を盛り上げて

博物館に

初もうで



トーハクくん ユリノキちゃん
東京国立博物館公式キャラクター

2023年
1月2日(月・休)
1月29日(日)

新春恒例「博物館に初もうで」は、2023年で20回目を迎えます。新年の干支「卯」をテーマにした特集や、お正月らしい吉祥作品の数々をお楽しみいただけます。お正月限定のイベントも開催。新春気分をいっぱいに感じて、1年をスタートしませんか？

1月のキッスデー限定配布！
「博物館に初もうで」ワークシート

特集「博物館に初もうで 兔にも角にもうさぎ年」をはじめ、お正月の展示を楽しむためのワークシートを、2023年1月22日(日)のキッスデー限定で、小学生以下のお子様先着300名に配布します(本館地下みどりのライオンにて配布。なくなり次第終了)。ウェブサイトからダウンロードもできます。

特集「博物館に初もうで」

兔にも角にもうさぎ年

平成館企画展示室

令和5年の干支は癸卯、うさぎ年に当たります。うさぎと人との関係は古く、愛玩用あるいは狩獵の対象として長い年月とともに過ごしてきました。そうしたうさぎは文学や美術にも表現され、人々の暮らしを豊かに彩って参りました。

本特集では、「兔に角うさぎ」、「月のうさぎ」、「波に乗るうさぎ」、「うさぎはどこだ」、「うさぎと人」の5つの切り口から、東アジアの造形作品に表されたうさぎの魅力に迫ってみたいと思います。

兎にも角にも、さまざまなお姿、しぐさのうさぎ達をご覧いただき、よい1年のスタートを切っていただければ幸いです。

(清水健)



染付水葵に兎図大皿

伊万里 江戸時代・19世紀
平野耕輔氏寄贈

仲睦まじい2羽のうさぎがとても愛くるしい伊万里の大皿です



月宮八稜鏡

中国 唐時代・8世紀

背面に月でうさぎが仙薬(餅ではない!)を搗く姿が表されています



波兎蒔絵旅櫛箱

江戸時代・17世紀

波の上を走るうさぎは謡曲などにも謡われ、日本で流行しました



吉例 兎の年礼噺

蓮池堂画 明治時代・19世紀

洋装の兎が和装の鶏に年始の挨拶に伺い、多忙さを自慢気に語る場面。当時の兎ブームを伝える錦絵です

心くすぐる愛らしさ。
お気に入りのうさぎは
どれですか？



吉祥

本館

松・竹・梅に龍・蝙蝠など、日本と東洋の吉祥文様をぜひ探してみてください。



(部分)

◎竹梅図屏風

尾形光琳筆
江戸時代・18世紀
本館8室
2023年1月2日(月・休)
～2月19日(日)

竹



梅

梅窓美人図

(→11ページ)
鳥橋斎栄里筆
江戸時代・18世紀
本館10室
2023年1月31日(火)
～3月5日(日)



名所江戸百景・するかてふ

歌川広重筆
江戸時代・安政3年(1856)
三谷てい氏寄贈 本館10室
2023年1月2日(月・休)～1月29日(日)

富士山

松

色絵松竹文陶樽

京焼
江戸時代・18世紀
本館8室
～2023年2月12日(日)



鷹

松上鷹図鐙

志水甚五 江戸時代・17世紀
川田龍吉氏寄贈
本館13室 2023年1月22日(日)



鳳凰



唐織 紅縹段松皮菱牡丹鳳凰丸模様

上杉家伝来 江戸時代・18世紀
本館9室 2023年1月2日(月・休)～3月5日(日)

蝙蝠

青花紅彩 蝙蝠文壺

中国・景德鎮窯「大清乾隆年製」銘
清時代・乾隆年間(1736～95)
東洋館5室 2023年3月19日(日)



龍

雲龍堆朱合子

「大明宣德年製」銘
中国 明時代・宣德年間(1426～35)
東洋館9室
2023年1月2日(月・休)～4月2日(日)



東洋館



鶴

黒楽鶴亀文茶碗

仁阿弥道八作
江戸時代・19世紀
本館8室
～2023年2月12日(日)

新春 限定

耳ヨリ情報!



◆いけばな

2023年1月2日(月・休)～15日(日)
正門
池坊 蔵重伸氏

◆TNM&TOPPANミュージアム シアターよりプレゼント

2023年1月2日(月・休)～3日(火)
VR作品「鳥獣戯画 超入門!」を鑑賞された方に、次回以降お使いいただける鑑賞チケット引換券(有効期限:2023年1月4日(水)～6月30日(金))をプレゼントします。
※鑑賞には別途料金および当日の予約が必要です。
※上演作品等の詳細はウェブサイト(<https://www.toppa-w.jp/mn>)をご覧ください。

◆ミュージアムショップよりプレゼント

2023年1月2日(月・休)～3日(火)
当館の全ミュージアムショップで合計3千円(税込)以上お買い上げのお客様に、ミュージアムショップのグッズをプレゼントします。(両日ともなくなり次第終了。当館の全ミュージアムショップでのお買い物が対象、引き渡しは本館ミュージアムショップでのみ対応)

◆美術図書バーゲンセール

2023年1月2日(月・休)～3日(火)
(本館ミュージアムショップのみ対象)

◆ホテルオークラレストランゆりの木で割引

2023年1月2日(月・休)～3日(火)
ゆりの木で5千円(税込)以上ご利用のお客様は、お会計から10%割引いたします。

◆寛永寺根本中堂特別参拝

2023年1月2日(月・休)～3日(火)
10時～15時
根本中堂、四天王像などを公開します。

※混雑緩和のため、例年1月2日、3日に実施しておりましたカレンダールの配布および先着順の特典はございません。あらかじめご了承ください。

風雅な貴族文化が爛熟した中国・東晋時代(317~420)。王羲之(303~361、異説あり)は書の芸術性を飛躍的に高め、能書の代名詞として称えられました。その最高傑作「蘭亭序」(353)は、王羲之が催した修禊*の雅会で詠まれた詩集の序文として、自ら書写した草稿です。情緒豊かな名文で綴られた蘭亭修禊の故事は、秀麗な書法とともに、雅会の典型として後世の東アジアで文人の憧憬となりました。

本特集では王羲之の書法や蘭亭修禊をはじめとする雅会に関する書画文房の作品から、日本・中国に通底する文人文化を紹介します。このたび連携企画20周年を迎える台東区立書道博物館と当館の展示を通して、文人たちの憧れの世界をご堪能ください。

(六人部克典)

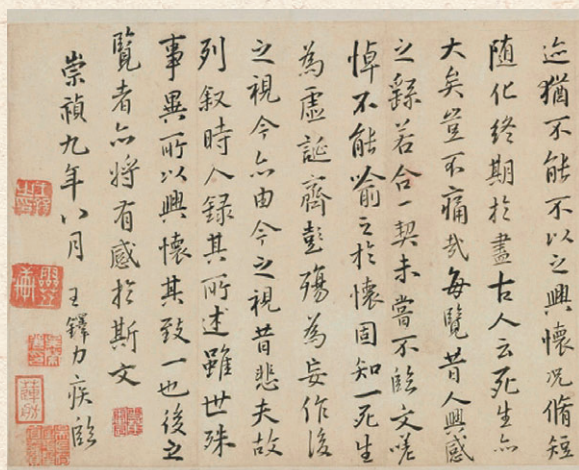
*陰暦3月3日、上巳の節句に、水辺で禊を行い、災厄を祓って幸福を祈ること。

台東区立書道博物館との連携企画

これまでとこれから

単館では不可能な企画も、両館なら実現できる! 2002年、蘭亭序を特集した企画は予想外の好評を博し、時には連携館を増やし、各種のテーマを取り上げてきました。第20回は原点に回帰し、改めて王羲之と蘭亭序を深掘りしつつ、今後の展望を模索します。

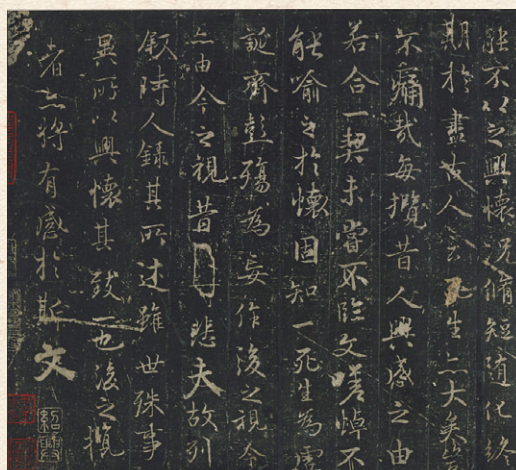
(富田淳)



王鐸臨書(部分)

楮模蘭亭序

中国 原跡：王羲之筆 原跡：東晋時代・永和9年(353)
高島菊次郎氏寄贈 展示期間：2023年1月31日(火)~3月12日(日)



本紙(部分)

在りし日の真跡を知る手がかり

唐太宗が陵墓に陪葬させて真跡が失われた「蘭亭序」は、太宗がつくらせた精巧な模本、拓本や、後世派生した夥しい数の複製によって、字姿が様々に伝承されました。5種の多彩な臨書を付す本巻には、人びとが想う多様な「蘭亭序」像がうかがえます。

(六人部克典)



蘭亭修禊図扇面

銭慧安筆 中国 清時代・光緒13年(1887) 青山慶示氏寄贈
展示期間：2023年3月14日(火)~4月23日(日)



十七帖

中国 原跡：王羲之筆 原跡：東晋時代・4世紀
江川吟舟氏寄贈 展示期間：2023年3月14日(火)~4月23日(日)

(部分)

蘭亭での宴をぎゅぎゅっと描写

酒盃を浮かべる蘭亭の曲水周辺に集う詩人たちとそれを眺める王羲之を、小さな扇面にぎゅぎゅっと描きます。銭慧安は、清時代末期の上海画壇を代表する画家。伝統絵画に西洋風の陰影を取り入れた、個性的な人物画風で知られます。(植松瑞希)

王羲之による草書の模範的作品

唐時代に王羲之の書簡を集めた法帖です。続け字のない単独の草書が多く、古くから草書の基本的な字形を学ぶ上で最良の手本とされてきました。簡潔な言葉が美しい書風と相まって、豊かな情感を伝えています。(富田淳)

2023年1月31日(火)~4月23日(日)
東洋館8室

祝・連携
20周年! 創立150年記念特集

王羲之と 蘭亭序

TOKYO NATIONAL MUSEUM
150
1872-2022

六人部
研究員
まぶさ

副館長
富田
淳

特別企画

「大安寺の仏像」

本館11室 2023年1月2日(月)～3月19日(日)

日本で最初に国が建てた寺院という歴史を有する大安寺。そこには奈良時代を代表する貴重な木彫群が伝わります。

なかでも、楊柳観音菩薩立像は、奈良時代の木彫像のなかでも優れた作例です。全体的にメリハリの効いたプロポーションや、口を開くことに連動して盛り上がるこめかみなど、体のバランスや筋肉の動きを的確にとらえています。また、胸飾りの緻密な文様に繊細な感覚がうかがえます。彫りの深さと浅さを巧みに使い分けて、衣の柔らかな質感を表現しようとする点にも高い技術がみられます。

大安寺の木彫群が醸し出す奈良時代の息吹を感じていただければ幸いです。(増田政史)

◎楊柳観音菩薩立像

奈良時代・8世紀 奈良・大安寺蔵

頭から足下の岩座までを一本の木から彫り出しています



◎不空羂索観音菩薩立像

奈良時代・8世紀

奈良・大安寺蔵

木の厚重さを生かした量感のある体つきです



◎聖観音菩薩立像

奈良時代・8世紀

奈良・大安寺蔵

デザイン性に富む胸飾りや鋭い衣の皺が見事です



画像提供：奈良国立博物館 撮影：西川夏永

観覧料：総合文化展料金でご覧いただけます。 ※本展は事前予約不要です。混雑時は入場をお待ちいただく可能性があります。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

特別展「東福寺」

平成館特別展示室 2023年3月7日(火)～5月7日(日)

京都東山に壮大な伽藍を構える東福寺には、建物の規模に見合った特大サイズの書画や彫刻作品が数多く伝わっています。なかでも、東福寺を拠点に活躍した絵仏師・明兆が描いた「白衣観音図」は、規格外の大きさを誇る逸品です。もとは法堂の壁面に貼られていたとも考えられる作で、縦3メートルを優に超える大画面はまさに圧巻です。ほぼ等身大で表された観音の姿は、中世絵画のなかでも最大級といえるでしょう。また筆勢あふれるダイナミックな描写には、明兆の非凡な画力を見ることができます。本展ではほかにも、超大型の仏像も多数出陳予定です。ぜひ会場で巨大伽藍の圧倒的なスケールを体感してください。

(高橋真作)



◎円爾像

吉山明兆筆 室町時代・15世紀

京都・東福寺蔵

展示期間：2023年3月7日(火)～4月2日(日)

縦267.4センチ。東福寺の開山・円爾を描いた日本最大級の禅僧肖像画です

◎白衣観音図

吉山明兆筆 室町時代・15世紀

京都・東福寺蔵

展示期間：2023年4月11日(火)～5月7日(日)

縦326.1センチ。明兆の代表作のひとつで力強い墨線は迫力満点です



◎仏手

鎌倉～南北朝時代・14世紀 京都・東福寺蔵

総高216.5センチ。像高7.5メートルもあつた東福寺旧本尊(坐像)の巨大な左手です

展覧会公式サイト <https://tofukuji2023.jp/> ※観覧料金、入館方法等の詳細は今後展覧会公式サイト等でお知らせします。 ※会期中展示替えがあります。



Pick up!

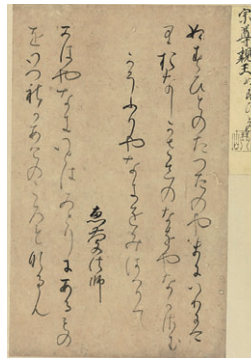
本館

時代を越えて集められた
名筆の数々

重文 手鑑「月台」

2023年1月2日(月・休)～2月12日(日)

3室 宮廷の美術―平安～室町



◎手鑑「月台」
奈良～鎌倉時代・8～14世紀

手鑑とは書(手)を集めたアルバムのことで、江戸時代に入る頃にその制作が流行しました。この「月台」は、坂正臣(1855～1931)による識語が添えられており、大正8年(1919)に、歌人であり古筆研究家としても有名な大口周魚(鯛二、1864～1920)が編纂したとわかります。片面に古筆切が三八葉、もう一方の面に古写経切が四一葉貼付されています。その中から今回は、『如意宝集』の内容を唯一伝える古筆「如意宝集切」など平安時代の流麗な仮名を中心にご紹介します。(恵美千鶴子)

本館

魔を払い子どもをまもる
愛らしい番犬

犬張子

2023年2月12日(日)

8室 暮らしの調度―安土桃山・江戸



犬張子 江戸時代・19世紀

犬張子は犬首(いぬばこ)ともいい、雌雄一对の犬の形をした筥です。紙を張り合わせて成形する「張子」の手法で作られています。雛道具として飾られることもあるので、なじみのある方も多いかもしれません。犬は性質が正直で魔を退けるとされ、子どもが生まれると、その健やかな成長を願って作られました。守札などを入れて幼児の枕もとに置かれることで、犬張子はその子を常に守護する役割を担ったのです。箔押し彩色に吉祥尽くしの華麗な装飾には、より強い退魔の力への願いが込められています。丸まった尻尾に澄ました顔の愛らしい姿は、目にした皆様にも力を分けてくれるはずです。(福島修)

東洋館

高い技術で織りなす
吉祥の世界

緋色繻子地 牡丹鳳凰文様編織

12月6日(火)～2023年3月5日(日)

5室 中国の染織 吉祥の鳥



(編織拡大図)
緋色繻子地牡丹鳳凰文様編織
中国 明時代・15世紀

牡丹の大輪の間に、美しい尾羽をもった鳳凰が刺繍されています。よく見ると花びらや羽には菱形や山形の幾何学文様が表され、糸の間には隙間がみえます。これは編織と呼ばれる、14世紀から17世紀中頃の中国・明時代に隆盛した刺繍技法です。平らな銀糸をボタンホール・ステッチでくるみながらかがってモチーフの輪郭をつくり、その内側をループ状に糸を編みながら覆っていきます。まさに超絶技巧といえるでしょう。鳳凰は四神のひとつとして、牡丹は富や高い地位を示す富貴の象徴として、古くより中国で親しまれてきました。吉祥文を彩る精緻な編織に注目ください。(沼沢ゆかり)

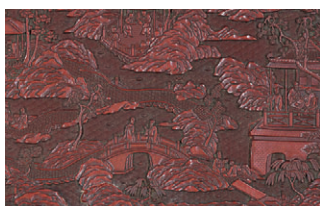
東洋館

漆の上に再現された
あの名場面

蘭亭曲水宴 堆朱長方形箱

2023年1月2日(月・休)～4月2日(日)

9室 中国の漆工



(部分)



(全体)

蘭亭曲水宴堆朱長方形箱
中国・明時代・15～16世紀

横長の箱の全体に堆朱で文様が装飾されています。堆朱とは、朱色の漆を幾層にも塗り重ねたものを浮き彫りのように彫刻して文様を表すもので、中国で発達した漆工技法です。本器の蓋面には蘭亭曲水宴の意匠、底面には鳳凰と牡丹を配した花鳥画風の意匠が表されています。曲水宴の意匠は、蛇行する流水にちらほらと盆が浮かび、岸辺で隠者たちが詩文を作成する情景となっています。画面の右端の東屋のなかには髭を蓄えた人物の前にある机上には硯や卷子が見いだされるので、この人物こそが王羲之その人であり、まさに蘭亭序を認めている場面を表しているものと思われまします。(猪熊兼樹)

Pick up!

平成館 威信を示す鋭利な刃部

両尖匕首

通年展示

考古展示室



両尖匕首

縄文時代(前期)・
前4000～前3000年
山形県朝日町石須部
出土
小原勘蔵氏寄贈

その形から両尖匕首ないし扶入尖頭器・両頭尖頭器・両頭石槍など複数の名前で呼ばれる石器で、一般的には質が良く硬い頁岩を丁寧に打ち欠いてつくられています。両尖匕首は、縄文時代前期前半に東北南部の日本海側で登場し、後に関東や中部に分布を広げます。複数ある厳めしい名前とは裏腹に、鋭利な刃部は実用的な道具として活かされず、もっぱら装飾品や、立場や経歴を示すものとして用いられたと考えられています。

本例は、大小ふたつある刃部のそれぞれにV字形の挟りが左右に施された両尖匕首のなかでも、ひととき装飾性の高いものです。

(品川欣也)

法隆寺宝物館

怒った顔は威圧感たっぷり

重文 伎楽面 力士

通年展示 金・土のみ公開

第3室 伎楽面



◎伎楽面 力士

飛鳥～奈良時代・8世紀

飛鳥時代(7世紀)に大陸から伝えられた仏教芸能である伎楽。数々の仮面を用いることで知られますが、このうち悪漢を退治する役割で登場するのが力士です。仏法の守護神を金剛力士(仁王)と通称しますが、伎楽では口を開ける阿形が金剛、口を閉じる吽形が力士として区別され、役割も異なっていたようです。

力士は、下唇を噛んで食いしむる表情を見せ、眉や頬の筋肉が盛り上がり、血管が目尻に浮き出た表現は迫力満点。製作当時は怒りで紅潮したような鮮やかな赤色に彩色され、鼻の下や顎には植毛されていたため、さらに鬼気迫る雰囲気放っていたことでしょう。

(西木政統)

黒田記念館

穏やかな微笑みが印象的

婦人肖像

2023年1月15日(日)

黒田記念室



婦人肖像

黒田清輝筆 明治30年(1897)

水辺を背景に、白い歯を覗かせ微笑む女性。心地よい風が感じられます。画面右下の記載は「S.K. Inagaki, 11.7.97」と読めます。画友の安藤伸太郎によると、稲毛海岸に逗留中の黒田に宛てた7月9日付の書簡が残っているのですが、旅中に描かれたものでしょう。モデルはのちに黒田の妻となる金子たねであると考えられています。同年8月に、たねをモデルに芦ノ湖で描かれた「湖畔」と比べると、本作では即興的なタッチで、飾らない表情が捉えられています。2023年1月2日(月・休)15日(日)までは「湖畔」のある特別室も開室しますので、2点を同時にご覧いただけます。

(東京文化財研究所・吉田曉子)

トーハクの調査研究 ⑮

博物館の重要な使命のひとつである「調査研究」。その一端をご紹介します。

いつの日か「宝の山」を公開できるよう、地道な整理作業はつづく

当館には、日本、朝鮮、中国の陶片資料が大量に保管されています。たとえば、戦前に中国杭州の領事をつとめた米内山庸夫(1888～1969)による越窯や官窯址採集品や、陶磁研究者の水町和三郎(1890～1979)による肥前窯址採集品などがありますが、じつは未整理の陶片資料がまだまだたくさんあります。陶片は造形、焼成方法などの具体的な情報を教えてくれる陶磁研究の基礎資料であり、われわれ陶磁チームにとっては「宝の山」。いつか来館者の皆さまにもご覧いただけるようにしたいと考えております。

体力的にもなかなか大変な作業。学生アルバイトさんの力を借りて、公開に向けて整理に邁進する日々です。

(三笠景子)



現在、整理を進めているのは、東京帝室博物館時代の先輩北原大輔(1889～1951)が昭和6年(1931)に集めた肥前窯址採集品です。

4

茶の美術

-2023/2/12日**志野茶碗 銘 橋姫**

美濃 安土桃山～江戸時代・16～17世紀
松永安左工門氏寄贈
裾広がりの堂々とした姿で、松永コレクションを代表する一碗です



まつすしんなりがま
松図真形釜
芦屋 室町時代・15世紀
松永安左工門氏寄贈

3-3

-12/25日**○葡萄図**

没倫紹等筆
室町時代・延徳3年(1491)



(部分)



(左隻)

2023/1/2月・休-2/12日**◎四季山水図屏風**

伝周文筆 室町時代・15世紀

中国の山水画に由来する図様を組み合わせて春夏秋冬の大画面を構成した作品です

3-2

宮廷の美術
— 平安～室町**-12/25日****○融通念仏縁起絵巻断簡**

南北朝時代・14世紀

2023/1/2月・休-1/15日**◎古今和歌集(元永本)下帖**

平安時代・12世紀 三井高次氏寄贈

二重蔓草獅子丸文様の唐紙に和歌が散らし書きされています



3-1

仏教の美術
— 平安～室町**-12/25日****五髻文殊菩薩像**鎌倉時代・14世紀
松永安左工門氏寄贈

上記期間中、絵画作品
はご寄贈品を中心に
ご紹介します

2023/1/2月・休-2/12日**◎准胝仏母像**

平安時代・12世紀



5

4

3-3

3-2

3-1

2

特別1室

便殿

案内 2階 流れ

1-1

日本美術のあけぼの
— 縄文・弥生・古墳**-12/25日****みみずく土偶**

縄文時代(晩期)・
前1000～前400年
埼玉県鴻巣市
滝馬室出土

**2023/1/2月・休-7/2日****鶺鴒形埴輪**

古墳時代・5世紀 群馬県伊勢崎市
赤堀茶臼山古墳出土

夜明けを告げる鶺鴒は、古代の人びとにとって光をもたらす神聖な鳥でした

1-2

仏教の興隆
— 飛鳥・奈良**通年展示****◎八重鏡**

奈良時代・8世紀 法隆寺献納宝物

大小8口の鏡が入れ子状に重ねられるようになっています

2023/1/2月・休-4/2日**伎楽面 醉胡従**

奈良時代・8世紀
三井高次氏寄贈



2

国宝室
(特集 未来の国宝 — 東京国立博物館 書画の逸品 —)**-12/25日****形見の直垂**

(虫干)

川村清雄筆
明治32～44年
(1899～1911)

**2023/1/2月・休-1/29日****玄圃瑤華のうち末草・鶏頭ほか5点**

伊藤若冲自画自刻 江戸時代・明和5年(1768)

モノクロームの
世界に草花、野
菜、昆虫などを
彫り出した伊藤
若冲53歳の作

**2023/1/31日-2/26日****江戸城本丸大奥御対面所障壁画下絵**

狩野(晴川院)養信筆 江戸時代・19世紀

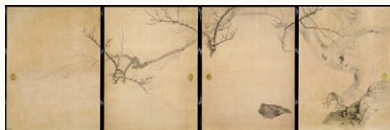


(部分)

-12/25日**池田宿図屏風**渡辺始興筆 江戸時代・18世紀
山下新太郎氏寄贈

『平家物語』の一節。一の谷の合戦で敗れた平重衡(たいらのしげひら)の池田宿での情景を描きます

7

屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸**2023/1/17(火)・2/19(日)****梅図襖**円山応挙筆
江戸時代・天明4年(1784)
もと尾張国(愛知県)の明眼院、現在は当館に移築された応挙館を飾っていた障壁画です**-2023/2/12(日)****一の谷馬関兜**安土桃山～江戸時代・16～17世紀
豊臣秀吉のものと伝わる兜で、背後にある放射状の飾りが印象的です**-2023/2/19(日)****三鱗紋兵庫鎖太刀**重要文化財 太刀(号 北条太刀)の拵
鎌倉時代・13世紀

5・6

武士の装い
— 平安～江戸**-2023/2/12(日)****南天猿蓑絵枕**江戸時代・18世紀
新婚夫婦が使う華やかな枕。ふたりの悪い夢は猿が食べてくれます**天正菱大判**安土桃山時代・天正16年(1588)
大川功氏寄贈

8-1

暮らしの調度
— 安土桃山・江戸**-12/25(日)****紅葉に菊流水図**尾形乾山筆 江戸時代・18世紀
山本富子氏・山本賢二氏寄贈

尾形光琳の弟、乾山の作。書と画を合わせて書画一致の世界を楽しむことができます

2023/1/2月・(休)・2/19(日)**霊亀二大字**佐藤一斎筆
江戸時代・弘化2年(1845) 河田燕氏寄贈
一斎は近世後期の儒学者。長寿の象徴「霊亀」を力強く書いた傑作です

8-2

書画の展開
— 安土桃山・江戸**-12/25(日)****厚板 金紅片身替 詩歌模様**江戸時代・17世紀
金春家伝来
『和漢朗詠集』の詩歌を文字で織り出した豪華絢爛な装束です

9

能と歌舞伎

2023/1/2月・(休)・3/5(日)**厚板 藍地唐獅子模様**江戸時代・17世紀
男性役が着用する厚板には力強い中国の吉祥模様が好まれました**浮世絵****-12/25(日)****富嶽三十六景・山下白雨**

葛飾北斎筆 江戸時代・19世紀

夏雲が湧き立ち稲妻が走る富士。北斎は天候の変化の中に富士をとらえようとした

**2023/1/31(火)・3/5(日)****梅窓美人図**鳥橋斎栄里筆 江戸時代・18世紀
梅の花の香が漂う窓辺で遊女が読書する姿を描きます。美人画を得意とした栄里の代表作です**衣装**

10

浮世絵と衣装
— 江戸**-12/25(日)****小袖 染分縷子地 若松小花鹿紅葉模様**江戸時代・17世紀
紅葉に鹿の刺繍や鹿の子絞りなどで、細やかにびっしりと模様が施されます**2023/1/2月・(休)・3/5(日)****振袖 紺平絹地 御簾檜扇模様**江戸～明治時代・19世紀
大谷美智子氏寄贈
御簾、檜扇といった王朝風の模様が、繊細な糊置きによる友禅染で染められます

12・1・2月

本館展示
日本美術の

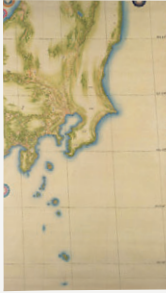
15

歴史の記録

-12/25日

◎日本沿海輿地図(中国) 関東

伊能忠敬作
江戸時代・
19世紀
色使い、見る
者の心を惹き
つける大き
さ。鑑賞作品
としても秀逸
です



(部分)

2023/1/2月・(休) - 2/26日

◎日本沿海輿地図(中国) 中部・近畿

伊能忠敬作
江戸時代・
19世紀
忠敬率いる
測量隊が制
作した日本
図の一部。
中部・近畿
地方を描い
たものです



14

特集

創立150年記念特集

「未来の国宝—東京国立博物館

彫刻、工芸、考古の逸品—」

(→前号4ページ)

-12/25日

青磁盤 中国・汝窯

北宋時代・11~12世紀 川端康成旧蔵
香取國臣氏・芳子氏寄贈

日本で見ださ
れた汝窯の盤。
北宋の宮廷が焼
かせたと伝わり、
世界的にも稀少
なやきものです



創立150年記念特集

近世能狂言面名品選

—「天下」号を授かった面打—

2023/1/2月・(休) - 2/26日

能面 平太 (→2ページ)

「天下—是閑」焼印
安土桃山~
江戸時代・
16~17世紀



案内 1階 展示

15

14

13-3

13-2

13-1

特別3室

11

12

11

彫刻

-12/25日

◎文殊菩薩坐像

(◎文殊菩薩騎獅像および侍者立像のうち)

康円作 鎌倉時代・文永10年(1273)
奈良・興福寺伝来

少年のような姿の知恵の
仏。切れ長な眼差しに
聡明さが感じられます



特別企画「大安寺の仏像」(→7ページ)

2023/1/2月・(休) - 3/19日

◎多聞天立像

(◎四天王立像のうち)

奈良時代・8世紀 奈良・大安寺蔵
画像提供：奈良国立博物館

12

漆工

創立150年記念特集

「根付 郷コレクション」

(→前号7ページ)

-2023/1/22日

常盤牙彫根付

線刻銘「光廣」
江戸時代・19世紀
郷誠之助氏寄贈

**2023/1/24日 - 4/16日**

○鳳凰桐紋沈金経箱 室町~安土桃山時代・16世紀

鋭い沈金技法で、中国風の鳳凰と日本の桐紋を同居
させています

13-1

金工

-2023/2/19日

蓬萊鏡 鎌倉時代・13世紀

*2023年2月14日(火)は展示環境整備
のため、本作品をご覧いただけません。



自在伊勢海老置物

明珍宗清作 江戸時代・18~19世紀

鉄製の部材を組み合わせ、動きまで本物そっくりに作
られています



みどりのライオン

※掲載されている催し物につきましては、今後、予告なく変更・中止する場合がございます。当館ウェブサイト等でご確認ください。また、動画配信については、公開済、公開予定のコンテンツを掲載しています。



みどりのライオン
オンライン

事前申込制 対面実施

ファミリーワークショップ「考古学者に挑戦！」

当館の考古学者と一緒に縄文土器をじっくり見て、どんな道具で模様をつけたのか考えながら、粘土で模様を再現してみましょう。

日時：2023年1月28日（土）、
29日（日）10:00～、14:00～
（各回2時間30分）

対象：小学生とそのご家族



前回のワークショップの様子

オンライン 事前申込制

オンラインファミリーイベント「考古学者と見てみよう！」

閉館後の考古展示室からギャラリートークを生配信します。当館の考古学者の話を聞きながら、一緒に作品を見てみましょう。

日時：2023年2月18日（土）
19:00～19:40（予定）

対象：小学生とそのご家族



平成館 考古展示室

*いずれも当館ウェブサイトからお申込みください。
*お問合せ：TEL：03-3822-1111（代）教育普及室

オンライン ギャラリートーク

「博物館でアジアの旅 アジア大発見！」

講師：原田 あゆみ（企画課長・東洋室長）
2022年「博物館でアジアの旅」のテーマは「発見」です。時空を越えてアジア各地を旅するように各展示室を巡り、「発見」に関するさまざまなエピソードをご紹介します。



「創立150年記念特集 再発見！大谷探検隊とたどる古代裂の旅」

講師：沼沢 ゆかり（保存修復室研究員）、
廣谷 妃夏（登録アソシエイトフェロー）

20世紀初頭に中央アジアや中国西北部を調査した大谷探検隊は、染織品も収集しました。大谷探検隊の旅路をたどりながら、古代裂の魅力をご紹介します。

「描かれた『源氏物語』—近世の絵巻と色紙—」

講師：金井 裕子（ボランティア室長）

『源氏物語』の世界を描いたものは「源氏絵」と呼ばれ、時代を超えて製作され続けました。江戸時代初期の2つの作品をじっくりご紹介します。

ご自宅等でお楽しみいただけるよう
YouTubeで動画を配信しています。



東京国立博物館
YouTubeチャンネル

月例講演会は当館大講堂にて実施しております。
詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。（事前申込制）

2023/1/31（火）-3/12（日）

楼閣人物螺鈿八角壺

沖縄本島 第二尚氏時代・17世紀

珍しい壺形の琉球漆器。花鳥や人物などの螺鈿細工が目を引きま



12/13（火）-2023/1/29（日）

アットウシ（樹皮衣）

北海道アイヌ 19世紀



16

アイヌと琉球

12・1・2月

本館展示 ジャンル別

17

18

16

19

20

特別4室

18

近代の美術

-12/25（日）

老猿

高村光雲作
明治26年（1893）
シカゴ・コロンブス
世界博覧会事務局寄贈



2023/1/2（月）・（休）-2/12（日）

美音

島崎柳塙筆
明治40年（1907）
島崎柳塙氏寄贈
琴の美しい音色に耳を傾ける
老若男女。箱火鉢で暖を取る
のどかな光景です

【御礼】「踊る埴輪&見返り美人 修理プロジェクト」 目標金額を達成しました！

本プロジェクトは、皆様からの温かいご支援により目標金額の1,000万円を達成することができました。心より御礼申し上げます。

当館所蔵の文化財は約12万件あります。その中で修理の必要がある文化財は数多くあります。大切な文化財を次の世代へ伝えるために、今後も修理プロジェクトを継続していきます。引き続きご支援をお願いします。



「埴輪 踊る人々」は2022年10月、修理工房へ輸送され、約1年半の修理が始まりました



プロジェクト詳細はこちら
(ご寄附のお申込みは2023年3月末まで承っています)

TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

VR作品『雪舟 一山水画を巡る』 12月25日(日)まで

力強い墨の線と立体的な構図で、見る者の視線を奥へ奥へと導く雪舟の山水画。本VR作品では、筆運びの再現により雪舟の息遣いを感じ、掛軸の中に入り込み山水景観を巡る旅をしているような体験をお楽しみいただけます。

料金：一般・大学生・高校生：600円、小学生・中学生：300円、未就学児・障がい者とその介護者各1名は無料(1作品/1回あたり)、別途入館料が必要です。開演時間までにシアター前券売機にてチケットをお買い求めください(当日券のみ)。

※所要時間 約35分です。

【予告】VR作品『鳥獣戯画 超入門!』 2023年1月2日(月・休)～3月5日(日)

※演目・スケジュール・定員は、都合により変更もしくは休演となる場合がございます。
※詳細、最新の情報はウェブサイト (<https://www.toppan-vr.jp/mt/>) をご覧ください。



手ぬぐいをプレゼント

大好評の伊藤若冲自画自刻の「玄圃瑤華」を使用したポスターデザインの手ぬぐいを10名様にプレゼントします。締切は2023年3月10日(金)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって代えさせていただきます。

※手ぬぐいは1種類のみです。販売はしていません。



〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館 広報室「ニュース12・1・2月号」プレゼント係

休館・閉室情報

12月26日(月)～2023年1月1日(日・祝)は休館します。

2023年2月7日(火)は、電気設備等保守点検のため臨時休館します。

展示環境整備のため、展示室の一部を以下の通り閉室します。

本館 特別1室・特別2室：11月1日(火)～2023年5月28日(日)

本館 高円宮コレクション室：11月8日(火)～12月25日(日)

令和5年度 東京国立博物館ボランティア募集のお知らせ

令和5年6月から令和8年3月末までの約3年間活動するボランティアを50名程度募集します。当館ウェブサイトから募集要項をダウンロードできます。活動内容・応募条件をご確認のうえご応募ください。



本館でのご案内の様子

応募受付：12月5日(月)～2023年1月11日(水)

(当館ウェブサイトの応募フォームより必要事項をご記入のうえご応募ください)

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代) ボランティア室

～恒例企画が帰ってくる！博物館で初笑い～ 新春東博寄席2023

お正月恒例の東博寄席を3年ぶりに開催します。年初めは博物館で粋な時間をすごしませんか。

日時：2023年1月9日(月・祝)

開場13:00 開演13:30

会場：平成館大講堂

出演：金原亭馬生、
金原亭馬玉、金原亭馬久 他



2020年開催時の様子

料金：2,500円(全席自由)

※当日は公演のチケットで総合文化展をご覧ください。

＜チケット購入案内＞

ローソンチケット販売のみとなります。東京国立博物館窓口でのチケット販売は行っておりませんのでご注意ください。ローソンチケットのご利用方法は下記のローソンチケット公式ウェブサイトをご参照ください。

<https://l-tike.com/>

販売期間：10月4日(火)～2023年1月6日(金)

2023年1月31日(火)、デジタル法隆寺宝物館オープン！

会場：法隆寺宝物館資料室(中2階)

2023年1月31日(火)開室

※以降、通年展示

法隆寺ゆかりの名宝を、デジタルコンテンツや原寸大の複製でわかりやすくご紹介する展示室がオープンします。

国宝「聖徳太子絵伝」の高精細画像を

8Kモニターに映すコンテンツでは、肉

眼では見えない絵の細部まで拡大できます。また、伎楽面や装束の

復元模造では、かつて人々を魅了した伎楽という芸能の色鮮やかな世

界観にふれることができます。デジタル技術が可能にする古代美術の

あらたな鑑賞体験をどうぞお楽しみください。



12・1・2月の休館日情報

休 館 日	12月	1月	2月
	5日、12日、19日、26日～31日	1日、10日、16日、23日、30日	6日、7日、13日、20日、27日

※12月1日、2日、3日、4日、8日、9日、10日、11日は、特別展「国宝 東京国立博物館のすべて」のみ20:00まで開館（総合文化展は17:00閉館）

※特別展「国宝 東京国立博物館のすべて」は12月18日(日)まで会期を延長します。12月13日(火)～18日(日)は20:00まで開館（総合文化展は17:00閉館）、12月12日(月)は休館します。

※12月5日(月)(特別展「国宝 東京国立博物館のすべて」のみ)、2023年1月3日(火)は臨時開館します。

※開館時間、休館日等の最新情報は当館ウェブサイトをご覧ください。

◆東京国立博物館利用案内

総合文化展観覧料金 一般1,000円、大学生500円

●事前予約は不要です。

※混雑時には展示施設前でお待ちいただく可能性があります。

※特別展の入館方法は展覧会ごとに異なります。

詳細は展覧会公式サイトをご確認ください。

●障がい者とその介護者1名は無料。

満70歳以上、高校生以下および満18歳未満の方は無料。

詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、
Twitter、Instagram、メールマガジンで！

東京国立博物館ウェブサイト
<https://www.tnm.jp/>



◆東京国立博物館賛助会員(寄附会員制度)募集のご案内

東京国立博物館の運営の趣旨にご賛同いただける団体・個人向けの寄附会員制度です。寄附金控除の対象になります。

【主な特典】特別展内覧会へのご招待 など

【年会費】〈団体〉プレミアム会員 1,000万円以上、特別会員 100万円(1口)、維持会員 20万円
〈個人〉プラチナ会員 100万円以上、ゴールド会員 20万円、シルバー会員 5万円

【申込方法】会員受付窓口、ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込

詳細は担当までお問合せください。

◆東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、1年間のうち何度でもご来館いただける会員制度をご用意しております。

友の会

発行から1年間有効 年会費:7,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を3枚と、ミュージアムシアター観覧券1枚、ショップ・レストラン割引などさまざまな特典があります。

*2021年4月以降にお申込みの方で、本誌の郵送をご希望される場合は、別途「東京国立博物館ニュース」の定期購読をお申込みください。

*2022年10月18日(火)～2023年3月6日(月)の間に期限切れとなる東京国立博物館の特別展無料観覧券(会員制度特典)は、2023年5月7日(日)までご利用いただけます。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効 年会費:一般2,500円、学生1,200円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能です。

東京国立博物館ニュース定期購読

年会費:1,000円(1年分)

【特典】東京国立博物館ニュースを年4回、1年分ご指定の場所に送付いたします。*次号(3-5月号)より送付をご希望の場合、締切は2023年2月10日(金)です。

○申込方法

1. 会員受付窓口

当館正門前の会員受付窓口で即日発行し、当日からご使用いただけます(現金またはクレジットカード、電子マネー)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生(4館共通のみ))、③メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)、④郵便番号、⑤住所、⑥氏名(ふりがな)、⑦電話番号を通信欄・ご依頼人欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度

口座番号:00140-3-791791

●友の会または国立博物館メンバーズパス(4館共通)にお申込みの方で、「東京国立博物館ニュース」の送付をご希望の方は、振替用紙に『東京国立博物館ニュース定期購読希望』とご記入のうえ、各会費に追加料金として1,000円を加えた金額をお振替ください。

●振替用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで、2週間程度かかります。

*一度納められた料金の払い戻しはいたしません。

*お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代) / FAX 03-3821-9680

総務課渉外開発担当

*月～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日は除く)

表紙の名品

2022年12月・2023年1月・2月号

振袖 鬱金色綸子地牡丹橘網模様

2023年1月2日(月・休)～3月5日(日)

本館10室

橘と牡丹、ふたつの願いが咲く美しき晴れ着



振袖 鬱金色綸子地牡丹橘網模様(部分)

旧久留米藩藩士家伝来 江戸時代・18世紀

橘と牡丹を1度に咲かせた立木模様には長寿と富への願いが込められています

久留米藩の旧家に伝来した、若い女性用の振袖です。未婚の武家女性の晴れ着として誂えられたものでしょう。珍しい花唐草模様の細かい地紋を織り出した綸子地は、高級感あふれるつややかな絹地で、中国からの舶来品と考えられます。赤味がかった黄の鬱金色に刺繍と摺匹田*で立木模様をあらわしています。鬱金色と雲形に染めた藍の染め分けは「桶絞り」と呼ばれる本紋りで染められており、しかも、雲形の内側には鹿の子紋りで網模様が染められていますか

ら、とても手の込んだ衣装であることがうかがえます。立木模様には茶と紺の粒模様を型紙で摺り込んだ摺匹田模様を基調に、白、紅、萌黄の絹糸、金糸などで刺繍が加えられ、いっそう華やかに仕立てられています。しかるべき身分の武士の娘が着用した衣装だったことは違いありません。立木模様は古代より用いられてきた伝統的な模様ですが、このように衣装の裾から立ち上がるように全身に表現されるようになったのは、安土桃山時代以降のことです。

細い幹がうねるように裾から左肩へと延びていく枝ぶりは、江戸時代中期のデザイン様式といえるでしょう。立木の模様をよくよく見てみると、不思議なことに橘の葉と実と白い花が同時に現れ、牡丹の花まで咲いています。これは、日本の吉祥模様である橘と中国の吉祥模様で「富貴花」と称される牡丹の花とを合わせて、幸いを祈った模様なのです。

橘は日本固有の常緑樹です。『古事記』に不死不老の霊薬「非時香木実(ときじくのかくのこのみ)」として記録されるのが橘であるといわれています。また、聖武天皇(701～756)が「橘は実さへ花さへその葉さへ 枝に霜降れど いや常葉の木」と詠ったように、霜が降りる寒い時期にも常緑の葉を絶やさなかったことから、永遠の若さが宿るとされ、日本では吉祥模様として愛でられてきました。この振袖には、長寿を願う橘と、裕福な生活を願う牡丹と、ふたつの願いが込められているのです。(小山弓弦葉)

*鹿の子紋りを型紙で摺り出した模様